

- ・創造する生徒
- ・心豊かな生徒
- ・鍛える生徒

## 「あい」があふれた「校歌斉唱」

校長 佐藤和男

3年生が技術・家庭科の授業で育てているミニトマトに小さな実が付き始めました。嬉しそうに水やりをする子どもたちの姿から、生き物を育てる喜びが伝わってきます。私も家の庭にミニトマトとジャガイモを植え、子どもたちと同じような気持ちで水やりをしています。成長がとても楽しみです。

「大宮西中の子どもたちは本当に素晴らしい！」

この思いを今年も再び実感できたのが、先日の第43回体育祭です。「輝跡」～今しか残せない一瞬～の生徒スローガンのもと、5月20日（土）に実施しました。当日は、日差しが強く、気温が上昇し、熱中症などが心配されましたが、途中で給水タイムを設け、安全と健康面に十分配慮しながらプログラムを進めました。お陰様で、大きな怪我や事故もなく終了することができました。保護者や地域の皆様には子どもたちの真剣に取り組む姿に対して、大きな声援をたくさんいただきました。さらに、PTA役員の皆様には、朝早くから、受付、会場係、来賓接待等でお手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。

当日まず感動したのは開会式で歌った校歌斉唱です。特に、模範となる3年生の体育委員が自分の出せる声を最大限に出して、元気良く、はつらつと歌ってくれました。その場にいた、来賓や保護者の皆様も大変感心していました。会場にいた人たちが笑顔になり、温かい気持ちになりました。どんなことであっても、子どもたちが真剣に一生懸命取り組む姿は感動に値します。教員をやっていて本当によかったと思える瞬間です。他の競技でも、学校をリードする3年生が中心となって、子どもたち自身でつくり上げる、素晴らしい体育祭となりました。改めて感動し感心しました。まさしく、「助けあい」「協力しあい」「励ましあい」「学びあい」「失敗を認めあい」等の「あい」のあふれる活動が体育祭の様々な場面で展開されました。誠にうれしい限りです。

さて、6月は、さいたま市教育委員会が設定している「いじめ撲滅強化月間」です。市立の全小・中・高等・特別支援学校において、いじめの問題について考え、いじめが起きない学校を作ろうとする意識を高めます。その中で、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進します。大宮西中学校では、各クラスのいじめ撲滅スローガンを作成し、生徒会や学級委員会が中心となって、いじめが無い学校を目指します。さらに家庭・地域と協力し、粘り強く取組んでいきたいと思えます。

話は変わり、6月3日（土）からは、3年生にとっては最後の公式戦となる、さいたま市中学校総合体育大会がはじまります。この大会は、県大会、関東大会、全国大会につながる重要な大会です。また、3年生にとっては最後の公式試合になります。先日、全校生徒が体育館に集まり、壮行会を行いました。各部活動の部長が、今までの成果を十分に発揮し全力で大会に臨む決意を発表してくれました。どの部活動も日頃の練習成果が発揮できるような、大いなる健闘を祈りたいと思えます。

また、大宮西中伝統の「藤花教室」も、たくさんの地域の皆様のご協力により6月10日（土）よりスタートします。この「藤花教室」は申し込みをしていない生徒も気軽に参加できます。各ご家庭でも、親子で家庭学習や生活習慣について、話し合いをしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



< 壮行会 >